

古代出雲の自然環境と文化遺産

20世紀は、自然環境や人間を取り囲む社会環境が大きく変化した時代でした。特に経済・技術の発展は自然破壊を押し進め、人間社会へさまざまな危機をもたらしました。そのような中で、21世紀は人間と自然環境の関係を改めて見直し、共生を図る“環境の世紀”とも言われています。

一方、島根県は古くから「神々の国」「神話のふるさと」として全国から親しまれ、豊かな自然環境に彩られた歴史的な文化遺産、神話・伝承、祭礼行事が数多く残っています。

この講座では、古来より自然との対立・調和によって育まれた古代出雲の実像をひも解き、未来に向けて人間と自然の共生の道を探ります。(4回連続講座：入場無料)

第3回「荒神谷青銅器の産地にせまる～鉛同位対比分析から見た青銅器の世界～」

出雲は全国屈指の青銅器出土数を誇ります。この青銅器の原料はどこから来たのか、どのようにして作られたのかを科学分析によって明らかにし、青銅器をシンボルとした古代出雲世界の謎にせまります。

開催日 平成18年10月7日(土) 13:00～16:00

開催場所 島根県立古代出雲歴史博物館・講義室(出雲市大社町杵築東)

講師 ・別府大学：平尾良光教授(保存科学)

・古代文化センター：増田浩太主任研究員(考古学)

スケジュール

13:00	開会
13:10～14:00	講演「青銅器の科学的分析の意味」平尾教授
14:00～14:20	休憩
14:20～15:30	座談会「鉛同位体比分析から見た出雲の青銅器」 平尾教授×増田主任研究員
15:30～16:00	質疑
16:00	閉会

【申し込み・お問い合わせ先】

聴講を希望される方は、**事前の申し込みが必要**となります。はがき・FAX・メール・電話等で聴講の申し込みを受け付けます。「公開講座希望」と明記し、住所・氏名・電話番号を記入のうえ、下記にお送りください。

〒690-0887 松江市殿町1番地 島根県古代文化センター

TEL 0852-22-6727 / FAX 0852-22-6728

Eメール：kodai@pref.shimane.lg.jp

会場の都合により、**先着70名**とさせていただきます。お早めにお申し込み下さい。なお、この講座は連続講座ですが、**聴講申し込みの受付はその都度行っております**のでご協力を願います。

講師プロフィール

平尾良光（ひらおよしみつ）

東京教育大学大学院で理学博士を取得後、アメリカカリフォルニア工科大学、青山学院大学で環境汚染の化学的な研究に従事。その後、一転して文化財を研究対象として選び、東京文化財研究所へ転向。自然科学的な方法で文化財からどのような情報を得られるのかに関して研究。中でも金属文化財の産地推定の研究では世界的に活躍。著作は『文化財を探る科学の眼』1～6巻まで（国土社）ほか多数。

増田浩太（ますだこうた）

岡山大学文学部史学科考古学専攻卒 1999年から島根県埋蔵文化財センターで発掘調査に従事、最初の発掘現場が浜田市上条遺跡（大正時代に銅鐸2点が出土）だったが、第3の銅鐸は見つからなかった。2003年から古代文化センター・県立博物館に勤務、荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡青銅器等の取り扱いを担当。近年はGIS（地理情報システム）を用いた埋納地研究を試行している。

今後の講座開催概要（予定）

第4回 - 遺産を未来に伝える -

「神々の国」「神話のふるさと」として全国に知られる島根県。島根に残された歴史的文化的遺産を、未来に向けて、自然との共生の中で保存・活用していく道を探ります。

開催日 平成18年12月（予定）

開催場所 島根県立古代出雲歴史博物館

講師 別府大学：渡辺智恵美助教授（保存科学）/ 古代出雲歴史博物館・学芸員

各講座のご案内は、詳細が決まり次第、チラシ・ホームページ等で随時お知らせいたします。（都合により内容を変更する場合があります）。